V-FAST 送信側アプリ Ver.2.3.1 リリースノート

1. 概要

項目	内容
公開日	2026 年 11 月 25 日
バージョン	2.3.1（前バージョン：2.3.0）
対象	V-FAST for IP 無線機　送信側アプリ（Android 7.0 以降）
配信	Google Play

Ver.2.3.1 は、USB カメラを使う運用の改善（自動での切り替え、起動時の確認画面の改善、伝送中の音声）と、通信ライブラリの更新、設定画面の不具合の修正を中心とした更新です。

主な変更

- **USB カメラが接続されたとき、自動で USB カメラへ切り替え**（新機能。既定は「切り替え」）：USB カメラをつなぐ端末は、USB カメラを優先して使います。
- **再起動のあとの、USB の権限の確認画面を、表に出すよう改善**：USB カメラをつないだまま再起動しても、確認画面が出ます。
- **伝送中も音声を送る設定**（新機能。既定は「通話中だけ送る」）。
- **通信ライブラリ（SkyWay）を更新**：3.5.1 → 3.8.0。
- **コーデックの選択を、VP8 のみに整理**：VP9・H.264 の選択肢をなくしました。
- **設定画面の不具合の修正**：「ログ送信」の二重起動など。
- **新しい Android の「16KB ページサイズ」に対応。**

これまでと変わらないこと

- 映像・音声の伝送、ログインの方法は、変わりません。
- ログイン情報と設定は、更新後も、そのまま引き継がれます（再入力は不要です）。
- 伝送の映像は、これまでどおり VP8 です。

2. 新機能

2-1. USB カメラが接続されたとき、自動で USB カメラへ切り替え

- 設定の「USB カメラ」に、「USB カメラが接続されたとき」の項目を追加しました。
  - 「**USB カメラへ切り替え**」（既定）：USB カメラが使えるようになったとき、自動で USB カメラへ切り替えます。待機中でも、伝送中でも、切り替わります。アプリの起動後に、すでに USB カメラがつながっている場合も、同じです。
  - 「切り替えない」：2.3.0 と同じ動作です（手動で切り替えます）。
- 手動で内蔵カメラへ切り替えた場合は、USB カメラを抜いて、つなぎ直すまで、自動では USB カメラへ戻しません。
- 「USB カメラが抜けたとき」は、従来どおり、既定は「切り替えない」です。
- 2.3.0 から更新した端末で、この項目を一度も保存していない場合は、新しい既定（切り替え）になります。従来の動作がよい場合は、設定を「切り替えない」にしてください。
- USB カメラをつなぐ前でも、設定できます。

2-2. 伝送中も音声を送る設定

- 設定の「音声」に、「伝送中の音声」の項目を追加しました。

    - 「**通話中だけ送る**」(既定):2.3.0 と同じ動作です。
    - 「伝送中も送る」:伝送中は、常に、音声を送ります。通話の開始・終了をはさんでも、途切れません。
- 設定の変更は、**次の伝送の開始から**有効です(伝送中に変えても、いまの伝送には反映されません)。
- 現在の視聴側は、伝送中の音声を、リアルタイムでは再生しません(視聴側の対応は、別途)。**録画したデータには、音声が入ります。**
- 「伝送中も送る」にすると、周囲の音声が、録画に記録されます。ご利用の前に、関係者の同意など、運用上の取り扱いをご確認ください。
- マイクを固定している場合は、固定したデバイスが外れている間は、音声を送りません(戻ると再開します)。

3. 改良点

3-1. 再起動のあとの、USB の権限の確認画面

- 2.3.0 では、USB カメラをつないだまま端末を再起動すると、USB の権限の確認画面が、アプリのロード画面の裏に隠れて、USB カメラを認識できませんでした。
- 2.3.1 では、メイン画面が表示されたあと、確認画面を、自動で、繰り返し要求します(表示の約 3 秒後、10 秒後、25 秒後)。確認画面で「OK」を押すと、USB カメラが認識され、「USB カメラへ切り替え」の設定が有効なら、自動で切り替わります。
- 「キャンセル」を押した場合は、USB カメラを抜いて、つなぎ直すまで、再度は要求しません。
- 画面が消えている間は、要求しません(画面が点いたあと、メイン画面が表示されていれば、要求します)。
- 確認画面は、端末(OS)の仕様で、再起動のたびに、出ることがあります。

3-2. 通信ライブラリ(SkyWay)の更新

- 通信ライブラリを、3.5.1 から 3.8.0 に更新しました。画面や操作は、変わりません。

3-3. コーデックの選択

- 設定画面の「コーデック」から、VP9 を削除し、H.264 は、選べない表示(グレーアウト)にしました。選べるのは、VP8 のみです。
- 伝送の映像は、従来から VP8 です。伝送の画質・動作は、変わりません。

3-4. 新しい Android への対応(16KB ページサイズ)

- 16KB のメモリページを使う、新しい Android 端末に対応しました。IP 無線機などの、現在の利用端末への影響は、ありません。
- あわせて、利用端末のない、x86・x86_64 の端末向けの部品を、アプリから外しました(アプリのサイズが、小さくなります)。

4. 不具合修正

修正した内容
設定画面の「ログ送信」を、続けて押すと、ログ送信の画面が 2 つ起動する問題
設定画面を開いたときの、サーバーとの接続確認が、サーバー側にエラーを残す問題
設定を一度も変更していない端末で、設定画面を開くたびに、不要なエラーが、ログに記録される問題

5. 注意点

5-1. 更新について

- 更新の時期は、端末ごとに異なります。しばらくの間、Ver.2.3.0 と Ver.2.3.1 の端末が混在しますが、どちらも、これまでどおり、伝送できます。
- 更新できたかは、ログイン画面の一番下の「Ver.」で、確認できます。
- アンインストールは不要です。上書きで、更新されます。

5-2. USB カメラ

- 2.3.0 の注意点(5-3)は、引き続き有効です。ただし、次の 2 点が、変わります。
  - **端末を再起動したあと**は、カメラが、いったん内蔵カメラに戻ります。「USB カメラへ切り替え」の設定が有効なら、USB カメラが使えるようになったとき、自動で USB カメラへ切り替わります。
  - **再起動のときに、USB カメラがつながっている場合**は、メイン画面の表示のあとに、USB の権限の確認画面が出ます(3-1)。確認画面が出ない、または、認識されないときは、USB カメラを、つなぎ直してください。運用上は、これまでどおり、アプリの起動後に、USB カメラをつなぐと、確実です。
- 画面が消えたまま(画面オフ)で再起動した場合の動作は、確認できていません。画面が点いたあと、USB カメラが認識されているか、確認してください。
- 対応しているのは、UVC に対応した USB カメラです。**すべてのカメラでの動作を、確認しているわけではありません。ご利用の前に、地上で、動作をご確認ください。**
- 端末の USB 端子の接触が悪いと、映像が止まることがあります。ケーブルを固定し、使用前に、ケーブルを軽く揺らして、確認してください。

5-3. 音声と録画

- **既定では、通常の伝送中は、音声は送られません**(2.3.0 と同じ)。「伝送中も送る」を選んだ場合だけ、伝送中に音声が送られます(2-2)。
- 視聴側の録画ボタンは、通信が途切れると、録画が終了し、保存の確認が表示されます。映像が戻ったあとは、録画ボタンを押し直してください。

5-4. そのほか

- 起動モードの「スマートフォン」「タブレット」は、選べません。「IP 無線機」をご利用ください。